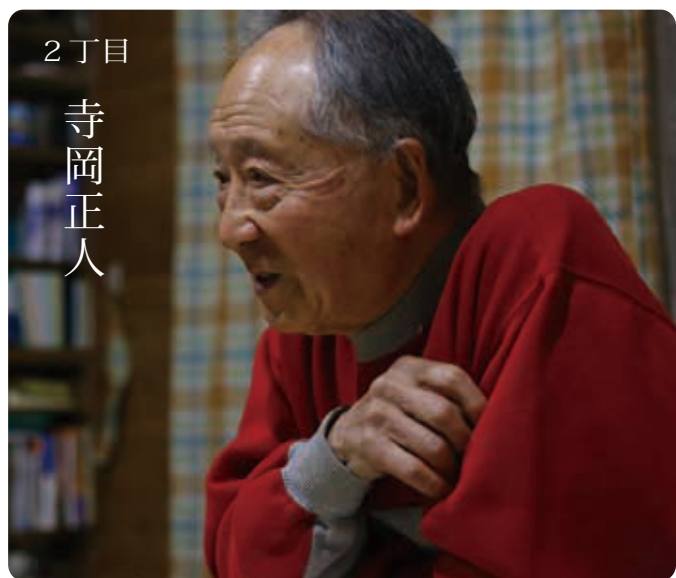


気になるフィオーレ喜連川人 Vol.27

生涯現役宣言!!

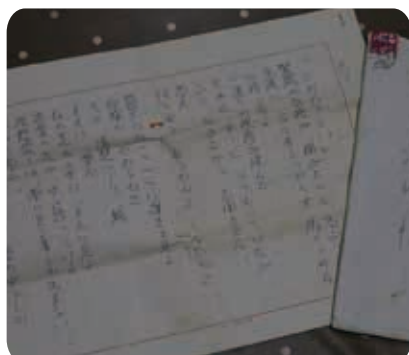


2丁目 寺岡正人

「もう今年で現役67年目だよ」15歳から今日まで現役で働き続けている。中学を卒業し、家具職人の見習いとして住み込みで働いた。5年後、大工の兄に引継がれ自分も大工になる。「マアちゃんはお父さんの上がりだが、これは作れるか」ある日、先輩から見せられたのは一枚の図面。それは※義太夫で使用する見台の図面だった。依頼主はその世界で有名な。初めて作る代物に悪戦苦闘しようにか仕上げる、と、すく喜ばれた。以来、相手が亡くなるまで交友は続いた。「影響を受けて、随分と公演

を観に行ったよ。すごい世界だった寺岡さんは他の職人とは少し違つ。芝居を観、音楽を聴き、絵を鑑賞する。一日中仕事は言語道断！仕事が終われば身なりに気を付けおしゃべりを楽しむ。きつかけは「職人のでたらめさに呆れ返っちゃった」から。仕事は頑固にきつちりこなすが、月に二日間だけでも休める休みに給料が手渡されると、早速次の日にはスツカラカン。ギャンブルに明け暮れ、懐が寂しくなると寺岡さんの元へとお金を借りやってくる。そして、コツコツ貯めた貯金は快く貸してやる。「しばらくするとギャンブルで勝つて何倍にもなつて返ってくる。ありがと、また頼むよ」と言われてね笑」その金は自分の知らない世界に費やした。大工の仕事はホームレスから大工まで人間関係が及ぶと言われる。自身の中で、様々な立場の人と幅広くコミュニケーションをとりたい気持ちが生え、いつしかその想いが芸術や読書へと自身を導いた。それが糧となり、仕事を通じた出会いがまた新たな出会いを生んだ。その中でも夫人との出会いは人生において特別だった。三人もつ

いた仲人の内一人の紹介で後の夫人に出会う。見合いの席から惚れ込み、めでたくゴールイン。しかし、新婚旅行で夫人は体調を崩してしまふ。旅行から戻ると、空港には仲人と夫人の家族が待っていた。「こんなことになって申し訳ない。この結婚はなかったことにして娘は連れて帰る」それを聞き、こつ返した。「二人で過ごす一生は何年あると思えますか？その内のたった4、5日のことでもそれを棒に振りたくない。僕は今、夫婦としての土台をつくる段階です」実は夫人には結婚前、慕っていた人がいた。しかし年頃の娘に良い縁談を、という家族の勧めを断れず、想いを隠したまま結婚してしまったことでの病にかかった。そこから一年間、無理強ひせず献身的に夫人の看病をした。ゆつくり自分と向き合ってくればいい。ある時、当時まだ珍しかったディスプレイ用の装飾具の制作に関わるようになる。年に何回か国際見本市に出展、あちこち飛び回る。大阪で開催された時には、そこに夫人を呼び寄せた。「よし！新婚旅行のやり直しだ」東京に戻る道中二人で旅し、色んなも



結婚前寺岡さんが夫人に宛てたラブレター

※義太夫節の略で、浄瑠璃(三味線音楽における語り物の総称)の一流派。もともとは、現在の文案につながる人形浄瑠璃の音楽や台詞ナレーション、効果音などとして生まれた。

フィオーレに自主防災組織が誕生

5年前に起こった東日本大震災の記憶もいまだ新しく、防災に対する危機感は以前と比べて高まってきているのではないのでしょうか。特に大規模災害の際は行政による対応のみでは限界があり、自分たちの身を自分たちで守るという事が重要で、それが一般に認識されるようになりました。そのような機運の高まりを受け、昨年の自治会総会で決議された通り、2016年2月フィオーレ喜連川にも自主防災組織が誕生することとなりました。



Q 活動内容は？

平時と災害時という大きく二つの役割があり、災害による被害を減らす「減災」には平時の役割に重点を置いた防災活動が非常に重要となってきます。具体的には防災知識の普及や地域の災害危険箇所の把握、防災訓練の実施や防災資機材の整備・点検などです。



70人もの人が参加。



消化器の使い方講座。

Q 活動資金は？

自主防災組織は、自治会の直轄の組織となり、初年度はさくら市からの助成金と、自治会の予算で運営されます。最初の構成員は、前年度の自治会役員が担当しますが、今後については必要に応じて改めて協議されます。



消化栓を使った放水も体験。

3月12日に行われた防災訓練の様子

Q 防災以外の役割は？

消防庁は自主防災組織の活動を「住民が安心・安全に暮らすための取組み」と位置づけており、地域の関係が希薄化する昨今においては災害に留まらず犯罪や福祉、環境の問題も課題として挙げています。その中で自主防災組織にはコミュニティ維持・復活の重要なシンボルとして、地域を発展させる主体的な活動を行う事が求められています。

フィオーレ管轄の消防団が5分団3部に

来年度より、フィオーレの管轄の消防団が5分団3部になります。今までは、フィオーレ内の各エリアによって3つの消防団組織が担当しており、様々な面での混雑が懸念されていました。今後は5分団3部が自主防災組織とも連携してフィオーレ区の安全に向けて活動していきます。

